

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 4 月 26 日 (2007.4.26)

【公開番号】特開 2004-280825 (P2004-280825A)

【公開日】平成 16 年 10 月 7 日 (2004.10.7)

【年通号数】公開・登録公報 2004-039

【出願番号】特願 2004-71199 (P2004-71199)

【国際特許分類】

G 0 6 Q 10/00 (2006.01)

G 0 6 Q 90/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/60 1 7 4

G 0 6 F 17/60 5 1 6

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 3 月 12 日 (2007.3.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の ビジネスサービスの主体 (B S E) と、前記複数の B S E のうちの 2 つの B S E の 関係付けを定義するサービスを提供する側と受ける側との関係付け (S R V) とを含むビジネス組織の B S E のモデル評価方法 において、

前記各 B S E の属性情報を記憶する段階と、

前記各 S R V の属性情報を記憶する段階と、

前記記憶した B S E の属性情報と前記記憶した S R V の属性情報とに基づいて、シミュレーション期間全体にわたって 前記 S R V のモデル をシミュレートする段階と、

前記 S R V のモデル を評価するために、シミュレート結果を表示する段階とを有することを特徴とする方法。

【請求項 2】

少なくとも 1 つのサービス領域 (S D) のそれぞれの属性情報を記憶する段階と、

前記各 B S E に関連した少なくとも 1 つのビジネス・プロセス (B P) を定義する段階と、

少なくとも 1 つの B P の各属性情報を記憶する段階とをさらに有する請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記シミュレートする段階は、前記記憶した B S E の属性情報、前記記憶した S R V の属性情報、前記記憶した S D の属性情報、および前記記憶した B P の属性情報を使用して、シミュレーション期間全体にわたって 前記 S R V のモデル をシミュレートする段階を含む請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記定義する段階は、それぞれの B S E の ビジネス活動を表す活動単位 を含むように、少なくとも 1 つの B P の各属性情報を設定する段階を含む請求項 2 に記載の方法。

【請求項 5】

前記設定する段階は、活動単位 を、各 B S E の記憶した属性情報と、各 B S E と関連した少なくとも 1 つの S R V の記憶した属性情報とを処理する数学関数になるように設定す

る段階と、活動単位を、各 B S E の記憶した属性情報と、各 B S E と関連した少なくとも 1 つの S R V の記憶した属性情報とに作用する一連の論理段階を含むコンピュータ・プログラム・コードになるように設定する段階とのうちの 1 つを含む請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記 S D の各属性情報を記憶する段階は、少なくとも 1 つの S D の各サービス領域にドメイン名を割り当てる段階を含む請求項 2 に記載の方法。

【請求項 7】

前記表示する段階は、前記 S R V のモデルを評価するために、出力マネージャの管理下で、シミュレートする段階の結果をある一定の書式で表示する段階を含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記 B S E の属性情報を記憶する段階は、前記複数の B S E のそれぞれに関して各サービス領域の割当てを記憶する段階を含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

前記 B S E の属性情報を記憶する段階は、前記複数の B S E のそれぞれについて、開始コスト、サービス収益、開始収益、サービス間隔長、およびサービス期間を含む、品物とサービスの一方を提供することと関連した各属性情報を記憶する段階を含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 10】

前記 B S E の属性情報を記憶する段階は、各 B S E が、ビジネス組織の内部ビジネス主体であるかどうかを示す各属性情報を、複数の B S E の各 B S E ごとに記憶する段階を含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 11】

前記 S R V の属性情報を記憶する段階は、前記各 S R V ごとに、前記複数の B S E のうちの B S E 対を識別する段階と、前記各 S R V ごとに、識別した各 B S E 対間のサービス - 金額、サービス - サービス、品物 - 金額、および品物 - 前記 S R V のうちの 1 つを示す各属性情報を記憶する段階とを含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 12】

前記 S R V の属性情報を記憶する段階は、契約タイプ、契約開始日、契約終了日、初期コスト、終了コスト、繰り返しコスト、初期収益、契約期間、および契約期間タイプを含む品物とサービスのうちの 1 つの契約と関連した各属性情報を記憶する段階を含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 13】

前記シミュレートする段階は、シミュレーション開始時間、シミュレーション終了時間、シミュレーション時間期間、シミュレーション更新間隔、およびシミュレーション出力方法を含むシミュレーション・パラメータを記憶する段階と、少なくとも 1 つのシミュレーション更新間隔に関して前記各 B S E のコスト属性と収益属性への更新を計算する段階とを含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 14】

前記表示する段階は、シミュレートの結果を出力マネージャに送る段階と、前記 S R V のモデルの値を含む情報をエンド・ユーザに提供する段階を含み、前記提供する結果は、所定のシミュレーション出力方法に従って前記出力マネージャによって書式化される段階を含む請求項 13 に記載の方法。

【請求項 15】

前記記憶した B S E 属性情報と、前記記憶した S R V 属性情報と、前記記憶した B P 属性情報と、外部現実世界システム内の対応するデータ変数との間のマッピングを作成する段階と、

シミュレーション期間中に、シミュレートの結果を、現実世界ゲートウェイを介して前記外部現実世界システムに送るように、出力マネージャに指示する段階と、

前記シミュレーション期間中に、前記現実世界ゲートウェイを介して前記外部現実世界

システムから入力情報を受け取る段階と、

マッピングを使用して、入力情報を少なくとも１つのＢＰに導く段階とを含む請求項１４に記載の方法。

【請求項１６】

請求項１から１５のいずれか１項に記載された方法を実行することによって、ビジネス組織の前記ＳＲＶのモデルを評価するように構成されたシステム。

【請求項１７】

請求項１から１５のいずれか１項に記載された方法をコンピュータに実行させるためのプログラム。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

本発明の局面は、複数のビジネスサービスの主体（ＢＳＥ）と、前記複数のＢＳＥのうちの２つのＢＳＥの関係付けを定義するサービスを提供する側と受ける側との関係付け（ＳＲＶ）とを含むビジネス組織のＢＳＥのモデル評価方法において、前記各ＢＳＥの属性情報を記憶する段階と、前記各ＳＲＶの属性情報を記憶する段階と、前記記憶したＢＳＥの属性情報と前記記憶したＳＲＶの属性情報とに基づいて、シミュレーション期間全体にわたって前記ＳＲＶのモデルをシミュレートする段階と、前記ＳＲＶのモデルを評価するために、シミュレート結果を表示する段階とを有する。